

「世羅小学校」食育・ふるさと学習事業 実施報告

日時:平成25年10月24日(木)  
午前 8時40分から午後3時25分

場所:世羅小学校  
対象児童:町内小学校6年生

講師:園部晋吾【山ばな平八茶屋店主】



日本料理アカデミーでは、世羅小学校にて「食育・ふるさと学習事業」を実施いたしました。町内の小学校6年生が、講演や調理体験を通して、日本屈指のプロの料理人から、次の事を学ぶことを目的とされております。

- ・日本料理の奥深さや魅力を学ぶ。
- ・世羅の特産物を使用した弁当づくりを通してふるさと「世羅」の良さを知る。
- ・我が国の文化や伝統を尊重し、郷土に誇りを持ち大切に作る心を育成する。

<p>事業実施内容</p>	<p>世羅小学校6年生(36名、36名)の家庭科で、和食や日本料理、食文化の話をしたのち、ダシを使った料理で、豆腐と小松菜と世羅町特産の松なめこの薄葛仕立ての調</p> <p>世羅町内の4校の小学校6年生全員(150名)に味覚教育から、ダシの試飲を交えた昆布と鰹ダシの講習、昆布や鰹節がどのようにできているのかを鰹のぬいぐるみやパワーポイントを使って説明。</p> <p>日本のよさ、生きる力、感謝の気持ち、他人への気遣いなどを日本食、ダシを通じて伝える。</p> <p>4校の小学校の代表者(世羅小学校のみ2つ)による5つの世羅のめぐみ弁当のプレゼンテーションを児童たちが行い、3名の審査員で審査を行い、優秀賞、最優秀賞を決定した。</p>
<p>事業実施した中での気づき・感想</p>	<p>調理実習では、ボランティアの方が各班についてくださり、一緒になってやってくださったので、とてもスムーズに運びました。子供たちも、それぞれ役割や担当を決めて、段取りよく調理、後片付けを進めていました。</p> <p>京都から持って行ったものは、鰹と昆布と調味料だけで、あとはすべて、町内で調達されました。豆腐がとてもおいしかったのが、印象的でした。</p> <p>世羅小学校の校長先生は、朝、校長室の窓もともすべてあけて、そこを通る児童たちすべてに挨拶をされていました。私も、そこにおり、一緒に挨拶させていただきましたが、かなりの人数が通っていきます。毎日この挨拶で、子供たちの今日の様子がわかるんじゃないかと思ったり。</p> <p>学校によっても、クラスによっても、積極的な学校、消極的なクラスと様々でしたが、どの子たちも素直で、一生懸命話を聞いてくれていました。150人もの大人数でダシの講習をしたことがなかったのですが、先生やボランティアの方の協力があって、スムーズに講習や試飲を進めていくことができました。出来たら、少人数で、もっとまじかで話ができればよかったのではないかと思います。</p> <p>教育委員会の方、校長先生、栄養教諭、担任の先生や他の先生方、ボランティアの方々も今回の事業に関して、本当に多大な協力をいただき、また、皆さんとお話して、真剣に子どもたちの教育について、考えておられるのだなと感じました。</p> <p>初めていった土地で、私にとっては、何もかもが新鮮で刺激になり、たくさんのお話を聞くことができました。今回、このようなご縁をいただいたことに感謝いたします。今後また、いろいろな形で世羅町の料飲組合の皆様方と食育を続けていっていただければと思います。ありがとうございました。</p>

事業の様子

